

知事に何でも賛成の議会に立ち向かう

# 県議会で発言力・論戦力

## NO.1 尾村としなり 議会活動&実績

### 議会論戦と市民とのスクラムで 願いを実現

毎議会の質問と住民運動で実現した願いの一部をご紹介します。

#### 医療機関、福祉施設、保育施設等の 検査体制の拡充、 応援金支給へ



医療、介護、福祉団体のみならずと現場の厳しい実態を伝え、何度も申し入れ。

#### 被災者への生活再建 支援を充実



災害が起こればすぐに現地へ。被災された方の相談に応じ、国や県、市へ直談判。

#### 若者や子ども食堂への 支援を拡充



青年団体のフードバンク(食料支援活動)で、若者、学生の要望を調査。

#### 統一協会との癒着一掃、 政務活動費の厳格化へ



統一協会と関係を持たないよう県要請。政務活動費の使途の厳格化を主張。

### NO.1 尾村としなり 議会活動&実績

#### コロナ禍のもと医療、生業を守る

医療、福祉、雇用、業者を守る  
コロナ感染拡大と物価高騰で医療・福祉現場、中小業者や農家の経営など、広く県民生活が疲弊しています。

2013年度には、県内に9200床あったベッドが現在は約8000床に。医療現場からは「今の人員ではギリギリ。このままではいざという時に命を守りきれない」「医療には余力が必要」との声が…。これ以上の病床削減計画は中止すべきです。

今、やるべきは、①検査体制、保健所・医療体制の拡充、②看護師や介護福祉士、保育士などの処遇改善、③賃上げ、安定した雇用、④消費税減税、インボイス中止、⑤食料自給率の向上です。



コロナ禍の中小業者の実態を聴取  
(2020年4月)

#### 「原発ゼロ」へ毎議会質問

#### 国、電力会社に再稼働中止を要求

福島事故から12年。福島事故は人々の幸せを奪い去りました。島根原発直下には140もの活断層(宍道断層、鳥取沖断層)が走り、事故が起きたら県都消失は避けられません。

今の避難計画では、入院患者は山陽3県へ転院を迫られ、転院先でベッド不足が生じれば四国・関西の病院へ転院させられます。

なぜ病気で苦しむ人が避難しなければならないのでしょうか。「原発を動かさなければ転院など必要ない」という医療機関や入院患者の声をもっと真摯に聞くべきです。



危険な島根原発の再稼働中止を求めて中電へ申し入れ  
(2022年11月)

熱いハートでシャープな論戦  
尾村質問は迫力満点



## 尾村としなりの 歩み・政治信条

### Episode 1 大学で学んだ安保問題で 日本共産党と出会う

1962(S37)年、大田市で農家の長男として誕生。子どもの頃から米づくり、繁殖牛の飼養を手伝う少年でした。



大学では法学部を専攻。反戦平和、国民の苦難を軽減する立党の精神に共感し、日本共産党に入党。

### Episode 2 相談されればトコト つきあって解決へ

大学卒業後、民主商工会に勤務。県商工団体連合会事務局長として税金、金融、多重債務などくらしを守るために尽力。



相談者からは「命の恩人だ」との声が。親身になって相談に乗り、解決に力を尽くしました。

### Episode 3 若くして両親亡くし 苦勞を重ねる

8年間、両親の看護を続け、命と医療の大切さを身をもって知りました。「政治には人の命がかかっている」が政治信条。コロナ禍のもと、多くの県民の生活相談を受けてきました(写真)。



### Episode 4 毎議会必ず質問 議場は熱気と緊迫感に包まれる

質問日には多数の傍聴者が駆けつけ、鋭い論戦に議場は熱気と緊迫感に包まれます。「尾村質問には迫力がある」が定評。命とくらしを守る情熱と優しさが伝わる言葉に、涙ぐむ傍聴者も。



### Episode 5 他党議員や県幹部も 一目置く道理ある論戦

危険な島根原発2号機の「再稼働同意は撤回せよ」と鋭く迫る。他党の議員や県幹部からも「尾村県議の質問は説得力がある」「原発マネーと無縁だから、国、電力会社にモノが言える議員だ」と一目置かれる存在です。

プロフィール 1962年大田市生まれ(60歳) ▼県立大田高校、北九州市立大学法学部卒 ▼島根県商工団体連合会事務局長、消費税反対島根県各界連絡会事務局長など歴任 ▼2003年県議選初当選(現在5期目) ▼現在、党県議団長、党県副委員長、松江市東津田町在住。